

「古墳時代における

大刀の変遷とその背景」

右島 和夫(当館 特別館長)

7月31日(日) 14:00~15:30

戦国～江戸時代の優品とされる名刀は、実用性より賜与・贈答したり、保持したりすることに最大の意義がありました。そのルーツは、古墳時代までさかのぼるということを、わかりやすくお話しします。



埴輪 大刀 太田市塚廻り4号古墳
【国指定重要文化財】(文化庁蔵／当館保管)

●会場：群馬県立歴史博物館 視聴覚室

●定員：70名

●参加費：当日の観覧券が必要です。

企画展観覧料（常設展も含む）：一般 800円

常設展観覧料：一般 300円

●申込方法：6月30日(木)より、電話による事前申込が必要です。

027-346-5522(開館日の9:30~17:00)

※新型コロナウイルス感染症の拡大などの社会情勢により、内容を変更・中止する場合があります。

群馬県立歴史博物館

高崎市綿貫町992-1(群馬の森内)

TEL. 027(346)5522

